

※1枚ずつお取りください。

川上校区 第115号 公民館だより

発行 佐賀市立川上公民館 TEL (62) 5775 FAX (62) 5775
E-mail : kkawakami@city.saga.lg.jp

令和3年(2021年)8月



川上峡花火大会(官人橋と打上げ花火・手筒花火)

佐賀市の人口 230,734人 川上校区の人口 5,726人 川上校区の世帯数 2,181世帯【令和3年6月末現在】

公民館主催講座募集のお知らせ

「人間の翼・最後のキャッチボール」 上映会を開催します

日時：9月14日(火) 10:00~11:30

場所：川上校区公民館

鑑賞料：無料

定員：35名 ※先着順とします。

申込締切：9月8日(水)

佐賀商業高出身のプロ野球選手・石丸進一さんの姿を描いた映画「人間の翼・最後のキャッチボール」石丸さんは名古屋軍(現・中日ドラゴンズ)のエースで戦前最後のノーヒットノーランを達成しましたが、第2次世界大戦に招集され、特攻隊員として帰らぬ人となりました。



文部省選定
公民館主催

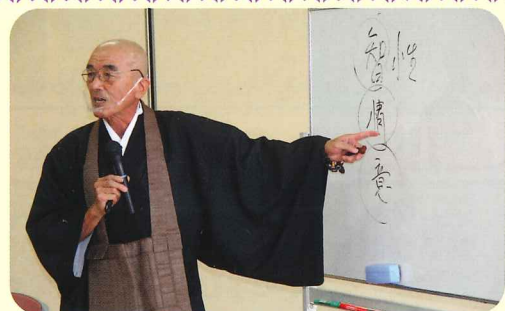
公民館主催講座の報告

「人の輪・心の輪」浄円寺住職様の講話

6月25日(金)藤野良海(浄円寺住職)様による「人の輪・心の輪」講話に20名の方の参加をいただきました。これまでの自分の人生を振り返り、また、これからの人生をいかに過ごしていくか、社会に貢献して暮らしていくことの意味など、仏教用語を交えながら楽しくお話をいただきました。

また、聴講者の方から色々な感想をいただきました。

- ・「同時摂」の心をもって行動する。・人のためにする事。
- ・「先意承問」心に残りました。・周りの方々と強調して生きる。
- ・自分自身の心の持ち方で人生が変わること。
- ・まず自分が慎むことから始め、実践していくよう努力したい。
- ・自分は人のためにあんまり行動していないと思った。
- ・自分に分かっていた事でしたが、今回のお話を聞いて人に対し思いやりをもって接していきたいと思いました。
- ・これからは、相手の気持ちに立って接していきたい。



※詳細については、川上校区公民館(Tel 62-5775)にお問い合わせください。

※コロナ感染予防を踏まえた措置として、公民館行事に限らず各種団体の利用者数に制限を設ける場合がありますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

字が上手になりたい人「小筆・筆ペン」教室を開催しました

菅陽華先生指導の文字を美しく見せるポイント「小筆・筆ペン」教室に18名の参加をいただき、全3回で教室を開催しました。

アンケートの結果、多くの方がこれからも練習を続けていきたいということでした。公民館として、今後サークルに移行出来たらと思っています。

- 1回目 6月16日(水) 楷書体
- 2回目 6月23日(水) 行書体
- 3回目 6月30日(水) 清書編

※皆さんの参加の動機は？

- ・般若心経を書いてみたいと思っていた。
- ・年1回のお施餓鬼で塔婆を書く当番になった。
- ・のし袋を書くのに困っていた。
- ・手書きで年賀状を書きたい。
- ・字を書くことで落ち着く。

※菅陽華先生のコメント

- ・思いやりの気持ちが字に伝わる。
- ・のし袋を丁寧に書けば頂く方にも気持ちが伝わる。
- ・字は、自分だけの字一生身にまとうアクセサリー。



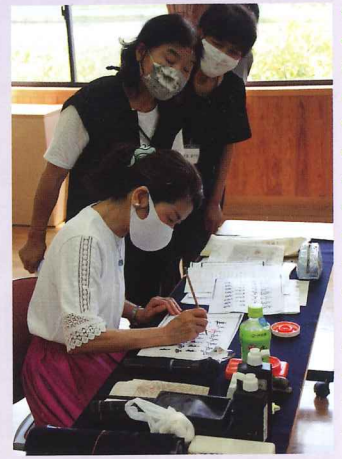
楷書体についての説明



筆の持ち方について



行書体についての説明



先生から一人一人に添削

ふんわりしっとりのカステラ作り教室を開催しました

7月7日(水)食生活改善推進協議会村岡美鈴先生による「カステラ」作り教室に9名の方が参加されました。始めに美味しく作るための生地作りから焼き上げるまでの一連の作業の説明を受けた後、手際よく楽しく真剣に取り組まれました。また、教室の皆さんへのお持ち帰り用として先生から2種類のカステラを事前に準備をしていただいていた。



生地作りです



カステラを前に集合写真

川上小6年生「ふるさとの歴史を知ろう」出前講座

7月13日(火)川上小6年生44名が佐賀市文化振興課の馬場さんと谷澤さん(じんき)を講師にお迎えし、最近話題となっている県立佐賀コロニー跡地(七ヶ瀬遺跡)の中から出土した三種の神器「剣、勾玉、青銅鏡」について学びました。三種の神器は、弥生後期の大规模墓群(長さ61m、幅25m)のかめ棺、石棺(251基)から出土し、副葬品などから地位の高い首長の墓だったことをお話しされました。また、川上地区の古墳(船塚・風楽寺・導善寺・小隈山)についても学びました。子どもたちは熱心にメモを取りながら色々なことを質問し、川上のすごい史跡に感心しきった様子でした。

川上は有数の文化財の宝庫だということです。



市文化振興課馬場主任による説明



七ヶ瀬遺跡の大発見です



熱心にノートに書き留める児童

★★★★★ 今が旬・川上の地域ニュース ★★★★★

東京パラリンピック出場の車いすテニス大谷選手にインタビュー

6月23日（水）東京パラリンピックに出場される車いすテニスの大谷桃子選手（西九州大学・かんぼ生命）にインタビューをさせていただきました。大谷選手は、大和町川上の大和中央公園テニスコートでパラリンピック東京大会に向けて古賀雅博コーチと練習に励んでおられました。

世界のアスリートとなかなか接する機会がないなか、間近で世界の大谷選手の練習風景を見ることができとても感動的でした。ボールの速さといい、コーチとの練習はハードで想像以上のものでした。また、練習の合間のインタビューでは終始笑顔で対応していただきました。



大谷選手と古賀コーチ

7月にイギリスで開かれたテニスの四大大会ウィンブルドン選手権、車いすの部で準決勝まで進まれました。四大大会後は、パラリンピックに向けた最終調整を行い、東京大会に臨まれるということでした。



大谷選手と古賀コーチとのラリー

川上小3年生「ステキ発見！川上の魅力」地域学習のため来館

6月29日（火）川上小3年生39名が川上の魅力を学ぶために来館しました。川上峡、このほり、佐賀県最大の前方後円墳（船塚古墳）、佐賀の歌仙今泉鱒守について多くを学びました。

4つのグループそれぞれが、知りたいことを質問してくれました。また、子どもたちの真剣なまなざしで一生懸命メモを取っている姿が印象的でした。子供たちにとっては、川上の魅力を再発見し、愛着を深める地域学習になったことと思います。



千住館長による子どもたちへの説明



しっかりメモを取っています



最後に子どもたちのお礼の挨拶です

川上校区公民館移転新築に向けて第2回検討委員会を開催

6月17日（木）第2回目の建設検討委員会では、最近新しく出来た若楠公民館と松梅公民館の現地視察を行いました。両館とも川上公民館にはない部屋、設備が色々ありました。若楠公民館は地域活動室があるのが特徴の公民館で、松梅公民館はウッドデッキの活用が特徴の公民館でした。視察後は公民館に戻って各部屋について打合せ会議を行いました。誰もが気軽に使える、使い勝手の良い、そして子どもから高齢者、障がい者にやさしい公民館づくりを目指して、今後検討委員会で詰めていくことを確認しました。



若楠池田館長より説明



松梅本田館長より説明

これからの行事

| 日 | 曜 | 8月(下半期) | 日 | 曜 | 9月(上半期) |
|----|---|---|----|---|---|
| 17 | 火 | 脳いきいき教室(13:30~14:30) | 2 | 木 | 子育てサロン(10:00~11:30) |
| 20 | 金 | 元気アップ教室(13:30~15:00) | 3 | 金 | 元気アップ教室(13:30~15:00) |
| 24 | 火 | 脳いきいき教室(13:30~15:00) ストップ!ロコモ体操(15:00~16:00) | 6 | 月 | まち協役員会(19:00~21:30) |
| 25 | 水 | 音楽サロン(13:30~15:00) | 7 | 火 | 脳いきいき教室(13:30~15:00) ストップ!ロコモ体操(15:00~16:00) |
| 27 | 金 | 元気アップ教室(13:30~15:00) | 9 | 木 | 定例自治会長会(19:00~21:30) |
| 29 | 日 | 親子手芸教室(13:30~15:00) | 10 | 金 | 元気アップ教室(13:30~15:00) |
| 31 | 火 | 脳いきいき教室(13:30~14:30) | 13 | 月 | まち協長寿部会(19:00~21:00) |
| | | | 14 | 火 | 映画鑑賞「人間の翼」(10:00~12:00) |

※公民館では他にサークル活動をされている団体が沢山ありますので、参加希望の方は先ずは公民館までお電話ください。

川上の歴史「健福寺」について紹介します

健福寺は、712年ごろ、^{ぎょうき}行基という僧が^{もとまて}元真手山に建てたといわれています。当時は七堂伽藍^{がらん}が立ち並び真手千坊^{せんぽう}といわれたと伝えられています。戦国時代の1570(元亀元)年に、大友勢がこの地に攻め入り、その時に戦火にあいました。また、大洪水にあい寺のある地域も次第に荒廃していきました。江戸時代に入り、実相院の僧の^{そんしゆん}尊純が今の場所に健福寺を再興しました。寺の敷地の中にある銅鐘は鎌倉時代初期につくられたものです。この鐘は、国の重要文化財に指定されています。寺の宝であるこの鐘は、佐賀県の中で最も古いお寺の鐘です。そしてかつての寺の姿を知る唯一の資料です。鐘は本来、僧に集合を知らせる合図に鳴らしたものでしたが、後に時刻を知らせることに用いたようです。この鐘には鎌倉時代初めの銘文とそのときの関係者の名前が刻まれています。鎌倉時代につくられた他の鐘と比較するとやや小さく、総高83.8cm、鐘身高68cm、口径47.3cmです。

また、時代は変わって佐賀藩の和歌を集大成して、全国にその名を知られるようになった「佐賀の歌仙」今泉^{かにもり}鱒守(1818~1883)の菩提寺である健福寺に歌碑が紹介されています。「書家」は中林梧竹、「歌人」は今泉鱒守と称されていました。

「渋柿のうまくなる世と待つほとに身は老いにけり木のもとにして」
「梅のやま月たちのぼれ河上のやなせに落つる鮎の数見む」



国の重要文化財に指定されている健福寺の銅鐘



今泉鱒守の歌碑